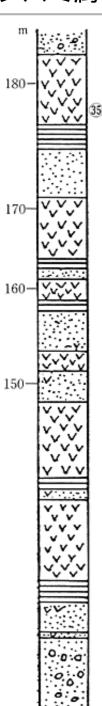


ハシバミ属 Corylus sp.





葉の先の鋭いとがり方と、葉の縁の 小さく数の多いのこぎり葉が特徴

発見場所、垂水区名谷町の柱状図

ハシパミ属

葉は二等辺三角形を丸くしたような形で、葉の先は急に細長くとがり、基部の部分は少し丸味を もつハート形をしている。葉の縁には鋭くて小さいのこぎり葉が多い。

白川累層上部よりまれに産出する。

現生のハシバミ属は北半球の温帯に約20種が分布している。

(カバノキ科 ハシバミ属 Corylus L.)

デジタル化 神戸の自然シリーズ 16 神戸層群の化石を掘る メニュ・